

ここが聞きたい

一般質問



3月定例会では、自民クラブと市民クラブが会派代表質問を、8人の議員が個人質問を行いました。

新年度予算の基本的な考え方は

「地域の自立」、「積み残した課題の解決」を念頭に編成した

自民クラブ代表質問 一括質問一括答弁方式



長神 隆士 議員
自民クラブ

■平成27年度予算案について

問 今後の財政運営の見通しは。

答 歳入は、企業努力により法人市民税などが増収となり恒久的な財源確保ができたが、税制改正により減収も懸念される。歳出は、公債費の負担は軽減するが、扶助費は増加傾向。公共施設の老朽化に伴う負担も増加する見込み。歳入減・歳出増の要因も多く、引き続き健全適正な財政運営が必要である。

問 新年度予算の基本的な考え方は。

答 「地域の自立」、「積み残した課題の解決」を念頭に編成した。リーマンショック以降、選択と集中の予算編成を行ってきたため、道路・港湾整備などのインフラ整備や公共施設の改修など、積み残しや先送りしていた事業に対応した予算編成をした。

問 地域の活力創出のための取り組みは。

答 農業や漁業の振興に力を入れ、積極的な情報発信によりシティセールスを推進し、地域のブランド力向上を目指していく。

■市長の任期満了について

問 2期8年間でどのように総括しているか。

答 厳しい財政状況のなか、行政サービスの水準維持、将来を見据えた予算編成、そして行政改革による経費節減を図り選択と集中を念頭に、日本一住みやすいまちづくりを目指しながら、次世代への基盤を作り上げてきた。本市は、多くのポテンシャルがある。新市長の下でも、本市の底力を発揮し、一層飛躍するものと確信している。